



在留外国人による制度の適正な利用の促進

-アウトリーチ型外国人生活オリエンテーション-

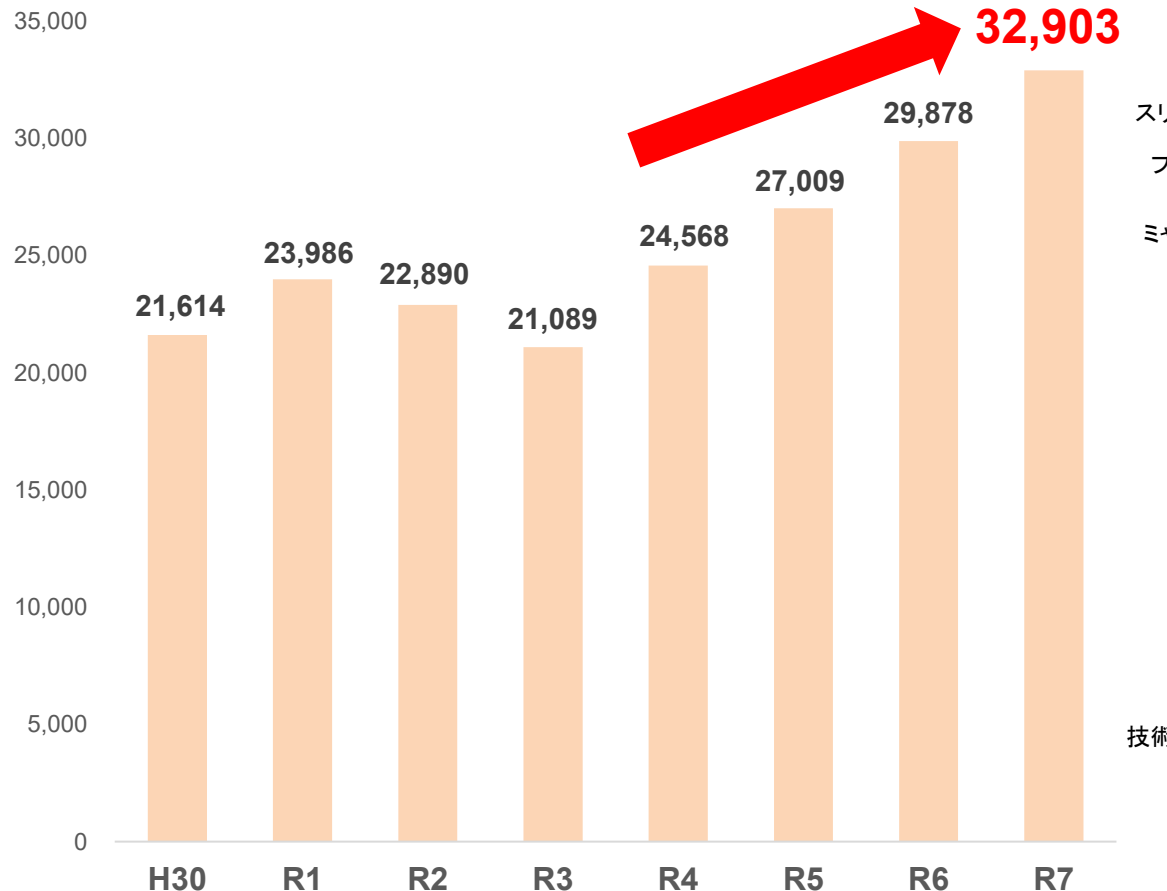
令和 8 年 8 月 27 日
宮城県国際政策課

宮城県における在留外国人の状況（在留外国人数・国籍別・在留資格別）

▶ 在留外国人数は過去最高を更新し増加傾向となっている

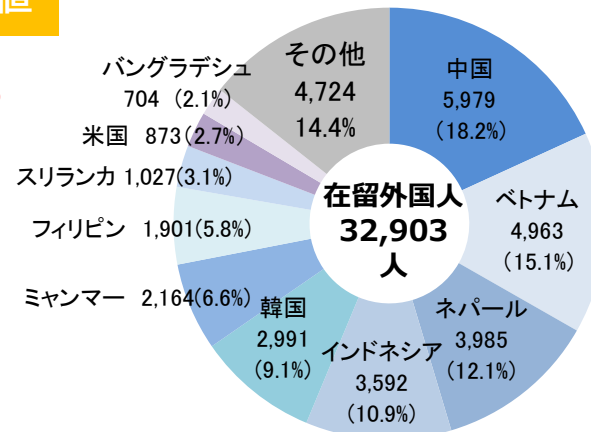
宮城県 在留外国人数

【単位：人】

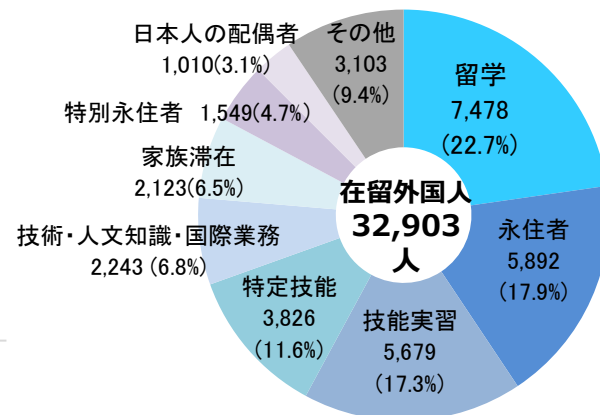


【出典】法務省 在留外国人統計 各年12月末現在

R7国籍別



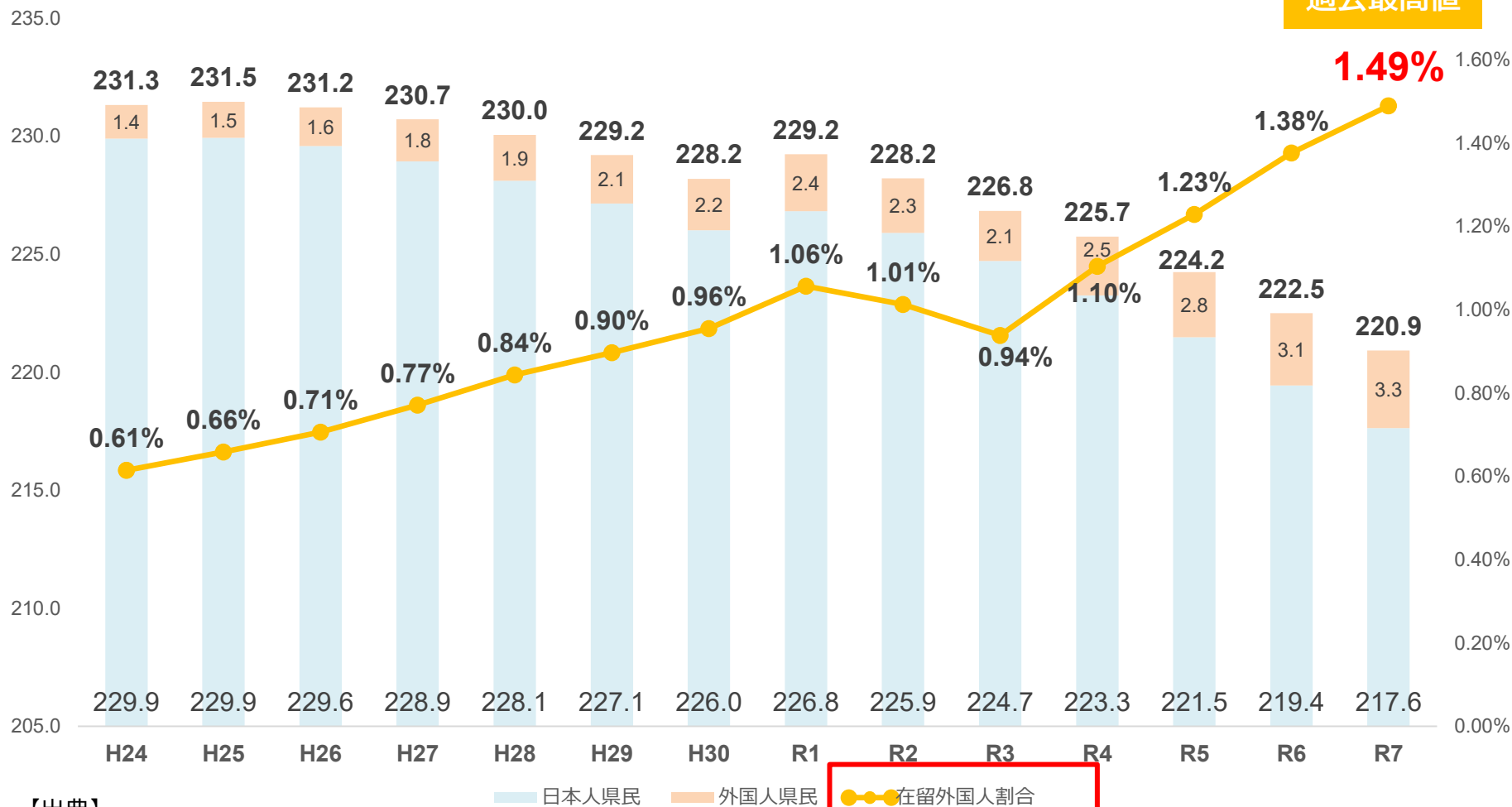
R7在留資格別



宮城県人口に占める在留外国人の割合

▶ 在留外国人数の増加に伴い、県人口に占める在留外国人割合は増加傾向

【単位:万人】



【出典】

・法務省 在留外国人統計各年12月末時点 ・宮城県住民基本台帳人口 各年12月末時点

外国人共生施策を取り巻く課題

① 意識 の 壁

日本人県民に対する多文化理解促進

- 多文化共生の理念が十分に浸透しているとは言えず、日本人県民への理解促進を一層進める必要がある。
- 日本人県民からは、外国人県民に対する日本語の習得や地域ルールへの理解を求める声が多く、相互理解の促進のため、外国人県民に対し地域の慣習やルールを理解する機会を設け、文化・習慣の違いによる軋轢を防ぐことが必要である。

外国人県民と地域が関わる機会のさらなる創出

- 外国人県民と地域住民との交流が希薄である一方、外国人側には地域行事や社会活動への参加意欲があるため、交流機会の創出が求められる。
- 地域行事やボランティア活動への参加を促進することで、地域とのつながりを強化する必要がある。

外国人共生施策を取り巻く課題

② 言葉の壁

必要な情報を入手・理解できる環境づくり

- 外国人県民の安全安心を確保するため、災害時等における即時性のある多言語情報発信が求められる。
- やさしい日本語を含む多様な言語ニーズに対応し、外国人県民が、生活・防災・行政の情報を“理解できる形で”受け取れるようにするための整備が必要である。

日本語学習機会の確保

- 外国人の日本語学習に対する意欲は高いものの、地域の日本語教室や支援体制が一律に整備されているとは言えないため、市町村等と連携した体制整備が必要である。
- オンラインやインターネットを活用した日本語学習が多くなっており、生活スタイル等、個別ニーズに応じた柔軟な学習機会の確保が必要である。
- 日本語講座内容の充実を図るため、国際交流協会等の学習支援者の育成並びにスキルアップの支援が必要である。

外国人共生施策を取り巻く課題

③

生活
の
壁

外国人県民の生活相談の多様化

- 日本語学習、雇用・労働、教育、住宅・交通、出産・子育て、税・社会保険など、幅広い分野の相談が寄せられ、内容が年々多様化している。

外国人県民が安心して暮らせる生活環境の整備

- 言語や情報入手手段の違いにより、外国人住民に行政・生活情報が十分に届かず、必要な制度やサービスの利用につながりにくい場合がある。
- 生活ルールや地域慣習を学ぶ機会が限られ、ルールの理解が進まず、誤解や摩擦が生じる可能性がある。
- 言語や制度理解の不足、地域とのつながりの希薄さにより、必要な支援につながりにくい状況が見られる。

アウトリーチ型外国人生活オリエンテーションの概要

取組前の問題意識

- 言語の習得状況には個人差があるため、外国人県民の中には、**日本の生活習慣や地域ルール、交通ルール等に関する情報を十分に得られていない者もあり、地域住民とのトラブルや事故につながるおそれがある。**
- 日本語能力、日本の行政制度に関する理解不足等により、生活上の困りごとや不安を抱えながらも、**適切な相談窓口につながるできない外国人も存在する。**

取組の概要

- ▶ 地域の生活ルールの理解を促進し、外国人住民が地域社会で不安なく円滑に暮らせるよう、外国人相談センターでは把握できない課題に対して**アウトリーチ型で支援**（４市町程度）

※外国人受入環境整備交付金（出入国在留管理庁）を活用し、県が宮城県国際化協会へ委託の上実施

取組体制

宮城県国際化協会（２名）

- ・ 実施内容の検討及び企画
- ・ チラシ作成・通訳者の手配
- ・ 参加者募集
- ・ 関係機関（警察等）調整 等

協力・調整

開催市町村

- ・ 開催場所の確保
- ・ 参加者募集（協力確認書を活用）
- ・ ごみ捨てルールの説明

第1回開催状況について

(全4回：丸森町（第2回）、仙台市、多賀城市（第3回・第4回）)

日時

令和8年7月12日(日)
午前9時から午後0時まで

実施地域

石巻市

参加者

43名
(うち外国人市民:35名)

参加者の
国籍内訳

ベトナム23、中国5、ミャンマー4、タイ1、
ネパール1、台湾1、日本人8

オリエン
テーション
内容

- ・ゴミ出しのルール ・外国人相談センターの周知 ・特定在留カードの紹介
- ・交通ルール(特に自転車のルール) ・津波避難所マークの紹介



交通事故通報の練習の様子



ごみ捨ての練習

成果と課題

成果

- 実践的な内容であったため各種ルールの理解促進につながった
※ アンケート結果：「とても役に立つ、役に立つ」の割合が97%（37件中36件、1件無回答）
参加者からは「毎年開催してほしい」「とても有意義だった」という感想が多数あり

課題

- 参加者募集の難しさ（外国人の雇用企業からの申し込みが全くなかった）
- 事業の継続性（県が実施する場合、毎年同一地域での開催は困難）